



発行所 弘前市馬屋町6の2 青森県立弘前工業高等学校同窓会

印刷所 やまと印刷株式会社



QRコード



至誠通天

同窓会会長 吉澤 俊 寿

同窓会の皆様方には同窓会活動に多大なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて今年も新型コロナウイルス感染症拡大の影響で思うような活動が出来ず自粛の年となってしまいました。しかしながら本部同窓会は令和四年七月二日に役員のみで総会を開催致しました。本来であれば同窓会会長として北海道支部から関西支部・東海支部など十一支部の総会に出席し大いに親交を深めている所ですが、今後の楽しみとさせていただけます。さて地球温暖化の影響で近年災害が増え続けておりまして、八月初旬には青森県な...

令和3年度 会務報告

- 令和3年
4月2日 会計監査(本校 第2応接室)
4月8日 正副会長会議(本校 第1応接室)
5月12日 役員会会議(本校 会議室)
7月3日 同窓会総会(パークホテル)
令和4年
2月25日 会報61号発行
2月28日 同窓会新入会員入会式(新入会員 250名)
3月3日 会報郵送(各支部長他 189通)

至誠通天とタイトルしました。孟子の言葉ですが誠の心を尽くして行動すればいつかは必ず天に通じ認められるとの事です。在校生達はコロナ禍で自粛ムードの厳しい中「品性は力なり」「勤労は使命なり」「常に汝の最善をつくせ」の校訓を胸に文武両道の精神で素晴らしい活躍をされ、同窓生に大きな希望と勇気を与えてくれました。いま現在、社会はダイバーシティ(多様性)、そして柔軟性を求められる時代に変わっています。学び舎を巣立つ卒業生の皆さんは自分の個性を失う事なくも作りの作りに適した事をお願ひします。今後は同窓生皆様方のご協力を賜りながら会長の任を務めてまいりますので何卒よろしくお願ひ致します。



文武一道を目指して

校長 北城 高 広

同窓生の皆様には、本校の教育活動に対し日頃から格段のご協力とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、七月の本部同窓会を縮小した形で開催いたしました。全国各地の支部総会も中止を余儀なくされ、各支部との交流を通して本校の状況をお伝えできる機会を失ったことは安全・安心を守るためとはいえ、残念至極であります。しかしながら、同窓諸兄が築き上げてこられた一二年の歴史と伝統は不易であり、それを引き継ぐ職責の重さに身を引き締まる思いで日々過ごしております。皆様のご厚情をいただき、令和四年度末を迎える時期まで歩みを進めることができましたことに、重ねて感謝申し上げます。さて、本会報には今年度の生徒の活動を掲載しております。中でも第十七回若年者ものづくり競技大会において、情報技術科の生徒が見られた一年でした。

職種」で金賞(厚生労働大臣賞)、「ITネットワークシステムシステム管理職種」で取組賞を受賞したことは、輝かしい成果として特筆すべきことです。若年者ものづくり競技大会は、二十歳以下の高等技術専門学校や大学の学生、専門学校等の生徒が技術を競う全国大会です。九月九日に県庁を訪れ三村知事に受賞の報告をした際には、「君たちは青森県の宝です。夢を叶えてください」と激励の言葉を頂きました。また、建築科の生徒も『ふるさととおもひ景観賞地域づくり活動部門』で最優秀賞を受賞し、櫻田市長を表敬訪問して成果を報告しました。部活動では、ボクシング部がウェルター級で県高校総体第一位、東北総合体育大会第一位、全国高等学校総合体育大会第五位、国民体育大会第二位と、一年にわたって活躍しています。バレーボール部は、県高校総体優勝、第七回全日本バレーボール高等学校選手権大会で青森県代表決定戦でも優勝し、春の全国大会への出場権を得ました。ほかに、六月上旬に行われた県高校総体において、軟式野球部・弓道部(男子学校対抗)・ボウリング部(男子学校対抗)が準優勝、ボクシング部(男子学校対抗)・陸上競技部(女子総合)・バドミントン部(男子学校対抗)・山岳部(学校対抗)第三位という結果を残し、多くの部活動で顕著な活躍が見られた一年でした。

令和四年度総会

令和四年度の総会は去る七月二日(土)に各支部長及び同窓会役員の出席(五十七名)を得て開催されました。新型コロナウイルスの影響で大規模な集会等が敬遠される中、一般会員の参加を見合わせた交流会については中止という形で開催となりました。関秀則副会長の「開会のことば」で始まり予定された案件についてはすべて承認されたところで、役員改選において筆頭監事の船水信義氏が本校後援会理事として選出されました。議事終了後、出席された各支部長より各支部の活動状況について報告がありましたが新型コロナウイルスの影響で各支部とも思うような活動ができず運営に気を揉んでおられることが痛切に感じられました。来年度は総会のみならず交流会も是非開催したいものです。

このように生徒たちは、文武一道を志として歴史と伝統を受け継ぎながら、未来へ向けたさらなる発展を目指して学業や部活動、資得格取得等に励んでおります。今後、生徒たちが新しい時代を主体的に切り拓く力を身に付けられるよう、職員一同、一致協力して指導にあたってまいります。



監査報告 船水 氏



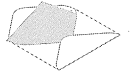
新監事 境 氏



東京支部 戸田 氏

同窓生の皆様の益々のご活躍をご祈念申し上げますとともに、今後とも後輩たちへの温かいご声援をいただきますようお願い申し上げます。

母校だより



硬式野球部

- ◎県高校野球選手権大会 春季大会 ベスト8
- ◎全国高校野球選手権大会 青森県大会 ベスト8

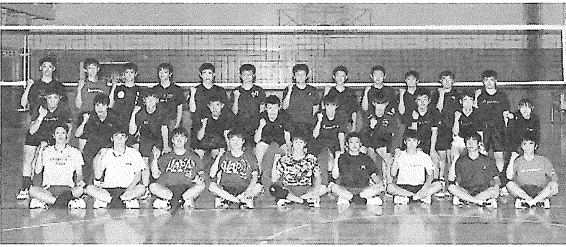


- ◎全日本選手権大会 男子 出場
- ◎全国高校総合体育大会 男子 出場

- ◎東北高校バレーボール選手権大会兼NHK杯大会 男子 出場

ボクシング部

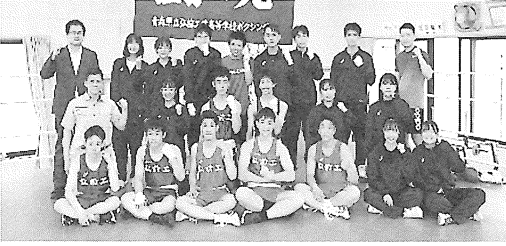
- ◎春季大会 学校対抗 第3位
- ウエルター級 第2位 浜田 実来
- バンタム級第3位 松田 佳大
- ライトウエルター級 第3位 鎌田琥心春
- ウエルター級 第3位 平山 涼太
- ミドル級 第3位 五十嵐貴晶



バレーボール部

- ◎県高校総体 男子 優勝

- ◎県高校総体兼国体県予選会 学校対抗 第3位



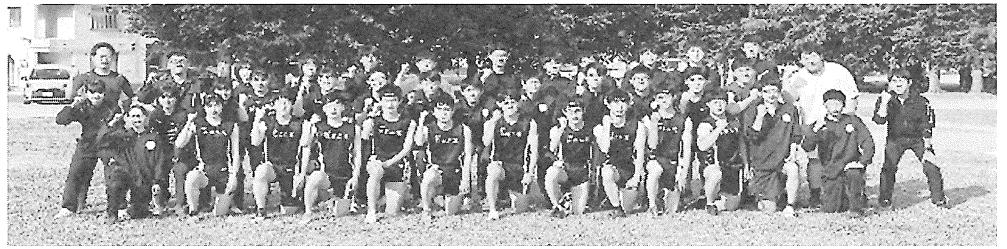
- ウエルター級 第1位 浜田 実来
- ライトウエルター級 第2位 鎌田琥心春
- バンタム級 第3位 松田 佳大
- ライトフライ級 第3位 吉村 駿吾
- フライ級 第3位 新山 開羅

- ◎国体県最終予選会 ウエルター級 浜田実来代表選出
- ◎全国高校選抜大会・JOCジュニアオリンピックカップ大会 ウエルター級 第2位 浜田 実来
- ◎国体兼東北総体 ウエルター級 第1位 浜田 実来

陸上競技部

- ◎春季大会 男子やり投げ 第5位 成田 正悟
- 女子砲丸投げ 第2位 東 優希
- 第5位 成田 彩歌
- 女子円盤投げ 第3位 成田 彩歌
- 女子ハンマー投げ 第1位 成田 萌香
- 第2位 東 優希
- ◎高総体 男子100m 第4位 館浦 蓮
- 男子走高跳び 第6位 長尾 侑磨
- 男子やり投げ 第2位 成田 正悟
- 女子走幅跳び 第1位 山口 実澄
- 女子砲丸投げ 第3位 東 優希

- 女子砲丸投げ 第5位 東 優希
- 女子ハンマー投げ 第2位 東 優希
- 第5位 成田 萌香
- ◎県高校新人選手権 男子走り高跳び 第4位 長尾 侑磨
- 女子走り高跳び 第6位 山口 実澄
- 女子砲丸投げ 第2位 東 優希
- 第6位 成田 彩歌
- 女子円盤投げ 第2位 成田 彩歌
- 女子ハンマー投げ 第1位 東 優希
- 女子フィールド総合 第2位
- ◎東北地区大会 女子砲丸投げ 第7位 東 優希
- 女子ハンマー投げ 第6位 成田 萌香
- 第8位 東 優希
- ◎東北総体 女子ハンマー投げ 第8位 東 優希
- ◎東北高校新人選手権大会 女子砲丸投げ 第3位 東 優希
- 第3位 成田 彩歌
- 女子円盤投げ 第5位 成田 彩歌
- 女子ハンマー投げ 第7位 東 優希



- ◎総体 男子ダブルス 第3位 石山凌大・小野咲斗
- ◎国体県選手権大会 少年B走幅跳び 第1位 長尾 侑磨
- 第2位 正地 陽向
- 女子総合 第3位
- 女子フィールド総合 第2位
- 女子ハンマー投げ 第2位 成田 萌香
- 第3位 東 優希
- 女子円盤投げ 第4位 東 優希
- 第5位 成田 彩歌
- 女子ハンマー投げ 第2位 成田 萌香
- 第3位 東 優希

- ◎春季大会 男子ダブルス 第3位 石山凌大・小野咲斗
- ◎総体 男子団体 ベスト8



ボウリング部

- ◎春季大会 男子個人戦 第1位 相馬 祥希
- 男子2人チーム戦 第1位 石田康次郎
- 第5位 相馬 祥希
- 小田桐虎尉
- 鈴木 悠斗
- ◎県高校新人大会 男子個人戦 第1位 相馬 祥希
- 男子2人チーム戦 第1位 高杉 鳳雅
- 相馬 祥希
- ◎高校総体 男子学校対抗戦 第3位
- ◎国体県予選会 男子学校対抗戦 第3位

- ◎春季大会 男子個人戦 第1位 相馬 祥希
- 男子2人チーム戦 第1位 石田康次郎
- 第5位 相馬 祥希
- 小田桐虎尉
- 鈴木 悠斗

バドミントン部



軟式野球部

- ◎高総体 準優勝



- ◎県高校新人大会 男子団体 ベスト8



柔道部

- ◎県高校新人大会 男子団体 ベスト8



- ◎国体県予選会 男子学校対抗戦 第3位
- ◎県高校新人大会 男子学校対抗戦 第3位
- ◎高校総体 男子学校対抗戦 第3位
- ◎国体県予選会 男子学校対抗戦 第3位





◎春季大会  
男子個人  
第4位 松元 瑠斗

弓道部

救急法  
1位 江口 鉄馬

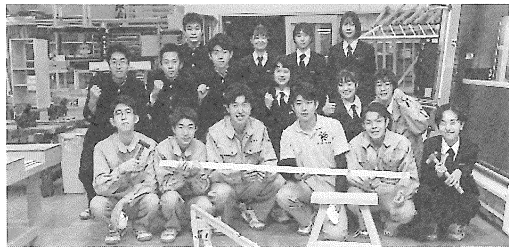
◎県高校秋季大会  
学校対抗(男子)  
6位

◎県高総体大会  
学校対抗(男子)  
3位

登山部

◎東北地区高校軟式野球大会  
ベスト4

◎新人戦  
優勝



◎高校生ものづくりコンテスト青森県大会  
木材加工部門  
第1位 吉田うらら  
第2位 小堀 史弦

建築研究部

◎東北弓道選手権大会  
男子団体出場  
男子個人出場  
女子個人出場

◎県下秋季弓道大会  
女子個人  
第6位 大高 花美

◎根岸 瑠璃  
◎三上 紗和

◎平川 真央  
◎大高 花美

◎対馬 幸宏  
◎大高 花美

◎準優勝  
男子個人  
第4位 對馬 幸宏

◎女子個人  
第4位 大高 花美

◎県下弓道遠の大会  
女子団体  
第1位 平川 真央

◎高校総体  
男子団体  
準優勝

◎女子個人  
第4位 對馬 幸宏

◎女子個人  
第4位 大高 花美

◎ロボット競技青森大会  
技術賞 チーム▽

ロボット競技部

◎県高等学校総合文化祭  
ラジオ番組部門 優秀賞  
「Woman's りんごの街のコンシェルジュ」

◎アナウンス部門  
入選 吉田うらら

◎ラジオドキュメント部門  
第2位

◎NHK杯全国高校放送コンテスト  
放送部

◎県高校放送コンテスト兼  
NHK杯全国高校放送コンテスト  
放送部

◎高校生ものづくりコンテスト青森県大会  
電子回路組立部門  
第1位 江口 鉄馬

◎次年度東北大会出場  
測量部門  
第1位 下山 朝陽

◎第3位 山田 直希  
◎第4位 樋口 将仁

◎藤田 恭輔  
◎葛西 駿輔

◎玉田 明澄

◎世界大会出場権獲得

◎国際イノベーションコンテスト国内大会

◎旋盤作業部門

◎山下 惺映

◎三上 煌央

◎朝陽

◎熾映

◎朝陽

◎熾映



◎アンサンブルコンテスト  
弘前地区大会  
木管三重奏 銀賞

吹奏楽部

◎高校生ものづくりコンテスト青森県大会  
電子回路組立部門  
第1位 江口 鉄馬

◎次年度東北大会出場  
測量部門  
第1位 下山 朝陽

◎第3位 山田 直希  
◎第4位 樋口 将仁

◎藤田 恭輔  
◎葛西 駿輔

◎玉田 明澄

◎世界大会出場権獲得

◎国際イノベーションコンテスト国内大会

◎旋盤作業部門

◎山下 惺映

◎三上 煌央

◎朝陽

◎熾映

◎朝陽

◎熾映

◎熾映

◎熾映

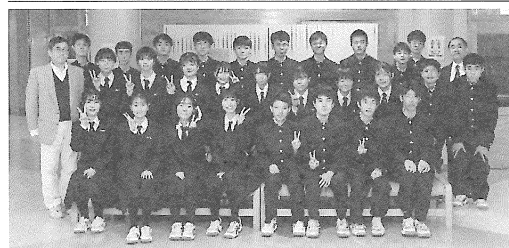
◎熾映

◎熾映

◎熾映

◎熾映

◎熾映



写真部



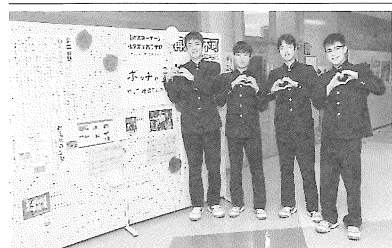
家庭クラブ

◎若年者ものづくり競技大会  
ロボットソフト組込み部門  
金賞・厚生労働大臣賞  
小林 大和  
芳賀 陽人

◎敢闘賞 橋場 陸人

◎I T ネットワークシステム管理部門

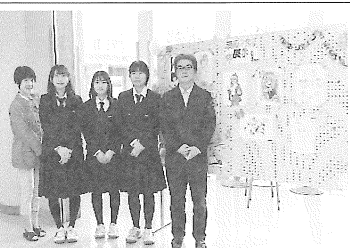
◎敢闘賞 橋場 陸人



JRC部



美術部



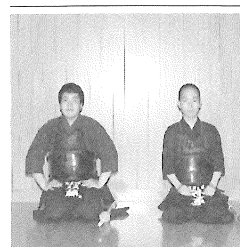
漫画研究部



サッカー部



バスケットボール部



剣道部



卓球部



新体操部

# 支部だより

## 関西支部

### 回想「甲子園」

新型コロナウイルス感染症の影響で三年の間、関西支部の事業活動は全く閉ざされたままです。特に会員の超高齢化による不安は拭い去ることができず、顔を見ることすらできない環境にあります。

小生が関西支部と出会ったのは四十七年前、故小野敏信支部長(以降;小野さんと称す)からの電話が始まりでした。異郷の地で活躍されている先輩諸兄と父との姿が重ね合わされ、身寄りの少ない小生にとって活力の源でした。

一九七六年、初めて母校が春の選抜高校野球大会に出場する快挙を成し遂げ、会員一同は誇らしさを惜しげもなく出しながら準備をし、憧れの甲子園へと繰り出しました。一回戦は岡山東商業高校。六回表までは二対二の同点でしたが、六回裏に追加点を許し、大湯投手の力投も報われず、まさかの初出場初勝利の夢は叶わなかったものの、十分な満足感と誇らしさに胸を張りました。

一九八五年、三度目の甲子園出場となる選抜高校野

球大会、今までの借りを返す舞台となりましたが、籤運に恵まれず?対戦相手は甲子園の強豪校である兵庫・報徳学園高校。

甲子園球場は地元強豪校の出場と相まって多くの観戦者で賑わっていました。対戦相手のアルプス席はガラガラ。まるで母校、いや青森県を嘲笑うかのような応援席で、入場者の殆どの方々が報徳学園高校の勝利を確信しているような雰囲気になっていました。

ところが、一回裏・好投手の松田投手を攻めまくって、いきなり四点をもぎ取ったのだが、直ぐの二回表に実力校の意地が爆発、三点を献上して一点差に攻め寄せられました。その後は工藤投手と選手達の粘りが功を奏し、四回裏に二点を追加して三点差に広がり、後半戦へと突入しました。

それまでは空席だらけだった報徳学園高校のアルプス席も危機感に駆られて、どんどん応援の観衆が増え、満席になっていました。六回の攻防が終わわり、「ひよっとしたら!」の思いは頂点に達し、小野さんと故菅原健一さん、故児

玉和夫さんは、翌日の二回戦の応援団確保のため、球場内の電話に嘯り付いて宿泊施設を探し始め、やっとの思いで某宿坊を確保して席に着いて安堵していました。

好投を続けていた工藤(義)投手を攻め倦んでいた報徳学園高校は、七回表に地元期待と強豪校の自負に苛まれながら、その実力を発揮して一挙に四点を奪い、その後は双方無得点のまま一点差で敗退となりました。

大きな夢を与えてくれた選手たちに感謝を込めてエールを送り、慌てて某宿坊の予約を解約。「甲子園は魔物だ」を関西勢に知らしめる大きな一戦であったことを誇りに思っています。

一九八九年、奇跡。いや、遺憾なく実力を発揮してくれた歓喜の瞬間が待ち構えていました。

三沢高校の準優勝以来、十九年に亘って優勝もななく、出場十三校のうち八校が完封負け。「貧打の青森」のジンクスが定着した甲子園で、青森大会を連覇した母校に二十年ぶりの勝利に期待は大きく膨らんでいました。

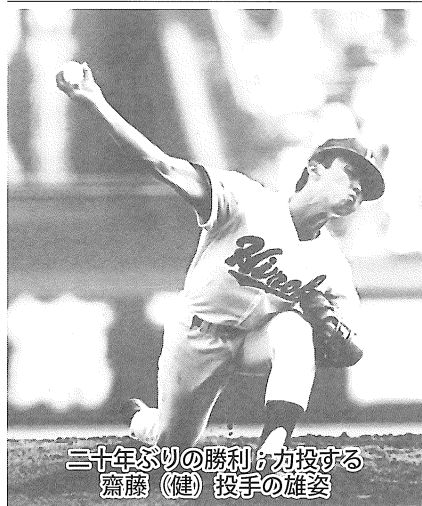
先攻の沖繩県の石川高校は初回、投手からいきなり一点を先取。「今年もまたか?」の思いが通り、お盆で帰省していた小生は家族とともに墓参りに。

墓所では参拝者達がラジオに耳を傾け、先祖への供

養も上の空。三回裏には同点に追いつき、回ごとの陣が功を奏し、五回裏には四球からの四連打で四点を挙げて逆転。ウオーという声が沸き上がり、いよいよ本物か?と。ご先祖様に手を合わせていました。

いよいよ最終回。ご先祖様の声を忘れ、ただ只管、ラジオの声に集中。齋藤(健)投手も尻上がりに好投、アルプス席には「ヤーヤ・ドー」が響き渡り、総立ちに。あと一人。二塁手のグロープにボールが吸い込まれて青森県勢二十年ぶりの勝利。横浜寿雄監督の信念と執念と選手達との信頼関係が実を結んだ瞬間であった。墓所では「ヤッター」の大歓声が響き渡った。ラジオから聞こえる甲子園球場に響き渡る「校歌」。何とも誇らしく、喜ばしく、後輩達の健闘に感謝した最良の一日となりました。

二回戦は、優勝候補の呼び声高い仙台育英高校。超高校級投手の大越投手と緊迫した戦いを繰り広げていた弘工健児。四回裏に一点



三十年ぶりの勝利!力投する齋藤(健)投手の雄姿

を先取されたものの、五回表には同点に追いつき、互角の勝負が終盤の八回裏まで続いた。

八回裏。勝利の女神が目を逸らした隙に仙台育英高校が追加点を挙げて最終回の攻防に。実力が勝る相手に善戦するも一点差に泣くことに。

「貧打の青森」のジンクスを破ると期待された母校「弘前工業高校」は見事にその期待に応え、その後の青森県勢の戦いに大きく反映されていると確信するものである。

横浜寿雄監督が二十年ぶりの勝利で話された『当時』はパレードするほどの大騒ぎだったが、今は違う。全国相手に臆することはなくなった。この思いが脈々と引き継がれ、弘工健児の活躍に繋がっている。

小生が在学中の頃は青森大会初戦に関わらず、弘前公園にある市営球場での試合は全校応援であったことを思い出す。

(支部長 木田貞明)

暮れの大掃除で同窓会の資料整理していたら平成二十五年の十一月の工藤前支部長からの引き継ぎ資料がありました。

なんだかんだで十年経ちました。

作文が苦手なので、活動報告は嫌いです。

東海支部総会は、昨年も、新型コロナウイルスで取りやめになりました。八月と十一月に濃厚接触者に該当し、仕事を休んでいました。

ただ、その前のゴールデンウィークには感染が下火になっていたので北海道に

遊びに行つてくれました。車で清水から長野、新潟を通って国道七号線で青森へ。日頃の炊事洗濯から解放されて気ままな一人旅です。

(支部長 小倉信英)

十三湖岸でひなたぼっこをし、夜中に青函フェリーで北海道に渡りました。

叔父さん、叔母さんのところへ寄りながら函館、大沼公園、小樽運河、宗谷岬、オホーツク海、羅臼、釧路湿原、苫小牧。

知床峠は凍結で通行止め、手前で南下、根室海峡の岸を走り北方四島の国後島でこんなに近いんだと驚きました。

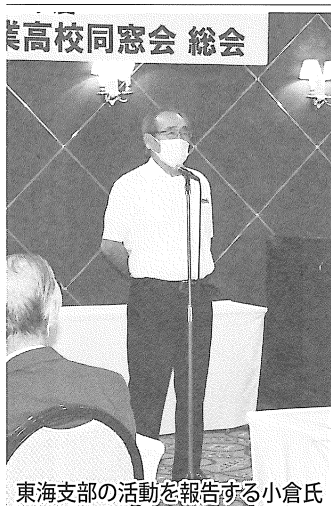
帰りカーナビが古く、青森の東北道の入口で道に迷ったが、秋田の乳頭温泉にも入つてくれた。九日間の旅はいい思い出になりました。

七月、弘前へ、同窓会総会に出席。各地の支部長の出席は三分の一ほどでした。

十月、新型コロナウイルスの感染拡大を出しました。

東海支部の総会中止は三年連続ですが今回は名古屋へ。何人くらい集まってもらえるだろうか。

(支部長 小倉信英)



東海支部の活動を報告する小倉氏

遊びに行つてくれました。車で清水から長野、新潟を通って国道七号線で青森へ。日頃の炊事洗濯から解放されて気ままな一人旅です。

(支部長 小倉信英)



国後島

## 東海支部

北海道支部

コロナで令和二年から支部総会・懇親会を開催しておりません。令和三年に、笹田支部長と三名の役員により議案決議を委任方式で開催しました。

本年も、北海道・札幌市の感染状況や、さらにインフルエンザの流行と相まって、支部総会・懇親会(例年ですと四月下旬)の開催は厳しい状況です。

今後、支部長・役員各位に語り、支部総会の開催方法について決めていきたいと考えております。

私ごと(昭和四三年土木科卒業、北海道支部事務局担当)ですが、五年前に連絡船で津軽海峡を渡り、北海道の役所(開発局)に就職しました。(青森県以北の就職はクラスで一人でした)

勤務して間もなく、同じ職場の札幌在住の先輩三人から、由緒ある建物の倶楽部で歓迎会の会食等励ましをして頂きました。学校を卒業したばかりで大変物珍しく感激した記憶があります。

また、当時の同窓会は札幌雪まつり(2月)と同時に開催され、四十名程の会に圧倒されたものです。その後、仕事の都合や地方への単身赴任等があり、同窓会の参加は数年に一回程度になりました。

平成十五年頃からは、職場でコンピュータンスの強

化が叫ばれ、「例え、同窓であっても利害関係者との飲食は禁止」との通達により、同窓会には定年までご無沙汰してしまいました。仕事は河川工事の設計・積算、監督が多く、三十代半ばで役付けになってからは役所以外の関係者との対応について、濃厚接触等一步間違えば悪い意味での「有名人」になる危険性がありました。

その時は、「新人の時励ましてくれた同窓の先輩に心配や迷惑をかけることだ(支部事務局担当 浅利晴雄)



令和元年度 北海道支部

大鰐支部



令和元年度 大鰐支部

誰もいない。澄み切った空気、一番ホールティアップして、カキーンとドライバー一閃!!

大きくスライズしてOBゾーンへ：背面からケタケタ、クスクスと笑う声

あーあ！ やつてしまった。とうなだれる私

参加者は十人三組程度でしたが楽しくラウンドしました。

ボールを打つ時はマスクを外し、打ち終わってカートに乗るときはマスクを着けるといいです。

なんと煩わしいことか、早く自由に普通に暮らせる日常が恋しいです。まだまだコロナ対策が必要な生活が続くと思いますが、いつかは下火になって収束します。

それまで十分に健康に留意され、また皆さんと元氣にお会い出来る日が早く来るよう念願しております。

(支部長 片山雄廣)



令和元年度 板柳・藤崎・浪岡支部

板柳・藤崎・浪岡支部



北五支部



令和元年度 北五支部

弘前工業高校同窓会北五支部総会



同窓会理事

(〇印常任理事)

Table of board members including names like 齋藤 隆一, 佐藤 誠, 藤田 幸一, etc., with their respective roles and contact info.

Table of members with names and their corresponding letters (A, B, C, etc.) and numbers.

今年度は七十一名から三十四万六千二百七十円の御協力をいただきました。
心算者芳名
菊池 祐司, 三上 義夫, etc.

Table listing members categorized by their contribution amount: 三千元の協力者, 五千元の協力者, etc.

Form for bank transfer details: 口座記号番号, ゆうちょ銀行, 00170-2-107631, etc.

Table of members with names and their corresponding letters and numbers.

支部長名簿

Table of branch leaders with columns for 支部名, 卒年, 支部長名, 郵便番号, 現住所, 電話番号.

一、趣意
同窓会運営協力費の納入により
本会財政への援助を図る
二、対象者
本会全会員
特別に定めていません
三、納入額
一人二千円から
四、納入方法
郵便払込取扱票及び事務局窓口
五、納入先
本会事務局
六、納金報告
次回会報に掲載して報告する

会報についての連絡
同窓会会報は平成24年の発行より全同窓生に送付していません。
今後は学校ホームページでの掲載と希望者のみへの発送となりますのでご了承ください。

# 同窓会活動を振り返って

## 渉外部主任 五十嵐治男

私は平成三十年に本校に赴任、渉外部担当となりました。以来同窓会と関わり合いを持たせてもらった事は卒業生として大変名誉な事と思っております。

しかしながらこの九三年間はコロナ禍で活動も制限・縮小を余儀なくされ、今でも尚、先が見通せない現状ですので、ここではコロナ禍以前の思い出話となり、先ず承頂きたいと思っております。

着任当初の四月中旬「北海道支部」よりお招き頂き、木村康雄副会長、赤井茂樹校長と共に空路札幌に舞い降りました。戸田則男東京支部長も同席されていました。総会後の懇親では会員の方が作った自家製ワインもご馳走になりその勢いのまま、すすきの名所であるニッカの巨大ネオンを横目に繁華街へと突入しました。支部御用達青森出身のオーナーの店では、津軽弁での思い出話に花が咲きました。

続いて六月には「北五支部」に船水信義監事、赤井校長と出席しました。また、板柳支部の三戸義仁支部長、佐々木秀美副支部長も同席されていました。懇親会では恒例の「応援歌」も披露され、会員の皆さんの母校愛を強く感じました。

下「東京支部」には木村副会長、赤井校長と前泊。事務局からは新卒者激励会の出席要請があり、関東近辺に進学・就職した卒業生をリストアップし、学業生をりサポート、学業生を卒業担任の先生方の協力で約三十名の新卒者を含む総勢百名を超える規模となりました。

懇親会では各科ごとの新卒者自己紹介や中澤美喜雄氏(四十二年卒)による津軽民謡披露、応援歌演奏と盛沢山で時間があつたという間に過ぎ、名残り惜しい中帰路につきました。

七月第一土曜日、本部同窓会総会が市内のホテルで行われました。総会の後、交流会と続き、幹事は輪番で機械科が担当し、数々の映画音楽やアニメ主題歌を手がけた菊池俊輔氏(二十五年卒)の活躍を放映したTV映像も好評でした。また、全国各支部協賛による大抽選会もあり、二百二十余名の参加者で大盛況でした。その後事務局は場所を変え、役員二次会、幹事慰労会と流れていきました。

七月末「八戸支部」には木村廣美監事、山田誠教頭と共に繁華街三日町に駆け付けました。奈良正人支部長の朝顔の版画が総会資料の表紙を飾っており、とてもアットホームな雰囲気の中で和やかに懇親が深められました。

八月末「大鰐支部」には小寺健治副会長、山田教頭と出席しました。会場の鰐カムにおいて村井秀光支部長のご挨拶、記念写真撮影、懇親会とここでは若手会員も多数参加しており、支部の一体感を感じました。

九月初旬「盛岡支部」には野澤武会長、山田教頭と出席。約十五名参加の懇親会も会長出席に大いに盛り上がり、帰りの予定時間を上回り、後発の新幹線の帰路となりました。

十月初旬「東青支部」は駅前ホテルにて開催。野澤会長、山田教頭と参加しました。また豊島隆幸元校長も同席されていました。出席者数は約五十名、独自のフェースブックにて情報を発信しており、本部同様の活動を展開、活性化を図っているようです。

十月下旬「東海支部」には木村副会長、山田教頭と空路名古屋入りしました。戸田支部長、木田貞明関西支部長も同席されています。また毎年タオルを購入して頂いている葛西幸男氏ともお会いすることができました。

十一月中旬「仙台支部」には澤口正光副会長、赤井校長と出席しました。建策、土木出身が多い会員のなかで懐かしい顔を発見、バレーボール部出身の山口春樹氏と再会することができました。その後は国分町をさまよひ、午前様となりました。この一言うまでもありません。

年明け一月下旬「板柳・藤崎」合同支部総会には野澤会長、赤井校長と出席しました。戸田支部長、今信次北五支部長、神泰樹事務局長も同席されています。抽選会には三戸支部長より高級座車、佐々木副支部長よりシラス・トーン等の景品提供がありました。両支部とも若手会員がバリバリ活躍し、大鰐支部同様後継の育成に力が入っていると感じました。(以上、当時の役員役職名での報告です)

このように当時は振り返ると、一年目は右も左も分からず右往左往し、周囲の方々にたまただ迷惑をおかけしながらの活動でした。この場をお借りして感謝申し上げます。

時を経てこの五年の間に「同窓会」は楽しくやれ」という

## 会員計報

令和四年二月から令和五年二月までに逝去が判明した会員のご芳名です。心からご冥福をお祈り申し上げます。

加川 康之	清藤 誠	金光 薫	工藤 栄一	松井 憲	倉内 守	清藤 悦	神藤 治	佐藤 雄	木村 三	北川 利美雄	木村 恒雄
A	F	M	M	M	M	M	C	C	C	C	C
28	17	20	34	39	45	49	20	20	24	26	30

## 令和五年度 定時制閉課程

令和五年度で閉課程となる定時制は現在まで千五百八名の卒業生を送り出し各方面で活躍しております。現在は工業技術科と称し四年次からそれぞれインテリア・機械コースに分かれ生徒が自ら適正のあるコースを選択して学んでいます。



文化祭での定時制模擬店

## 卒業生累計

(令和5年3月卒業生含む)

課程 科	旧 制						新 制				計		
	本科	第2本科	第2部	選科	専修科	別科	全 日 制		定 時 制		男子	女子	
							男子	女子	男子	女子			
木 工	156					11						167	
漆 工	43					5						48	
建 築	753	208		15	10		3,962	488				4,948	
インテリア (木材工芸・工芸)	269			42	9		1,629	1,111	282	45			2,231
機 械	786	319	76	13	10		4,120	10	654				5,978
土 木	438	213					4,351	56					5,002
電 気	100						3,583	26	364	7			4,047
電 子							1,987	140					1,987
情 報 技 術							1,364	445					1,364
電 子 機 械							886	21					886
工業技術科									132	24			132
合 計	2,545	740	76	70	29	16	21,882	2,297	1,432	76			26,790
		3,361			115			24,179		1,508			29,163

旧制 青森県立工業学校 (明治43年以降)  
青森県立弘前工業学校 (昭和10年度以降)

進路状況について

今年度の進路活動は、コロナウイルス感染症の状況は昨年、一昨年とほぼ変わらない状況でありました。慣れもあつてか対策・対応がうまくいったこともあり、振り回されることは殆どありませんでした。企業や上級学校側も対策・対応を万全にした上で、説明会やオープンキャンパスを

令和4年度 進路状況 ( ) は女子内数

令和5年1月13日現在

Table with columns: 在籍数, 就職, 進学, 職業能力開発施設, 専修学校各種学校. Rows include 204 (35), 希望者数, 内定・合格者数, 出願中・未定, 合格率, 希望者数合計, 全体に対する割合.

※令和5年1月13日現在結果待ち：進学2名

都道府県別 [就職128名・進学76名]

Table showing regional distribution of graduates by prefecture (e.g., 青森, 北海道, 秋田, etc.) and total counts.

加も目立ち、求人数も優に二万件を超え、四年連続のバブル景気と思われる年となりました。その反面、求人件数に対して就職を志望する生徒の数が減少しており、全国的に現場で作業に携わる人が不足し、深刻な人手不足であると痛感しています。そして今年度も各企業からの問い合わせや訪問が途絶えることがありませんでした。うれしい反面、すべての企業の期待に応えることができない状況で大変恐縮しています。中には、本校の卒業生も数多く含まれ県内外問わず「是非、後輩を育てたい」という熱い思いを持った方もおられます。大変申し訳なく思っております。

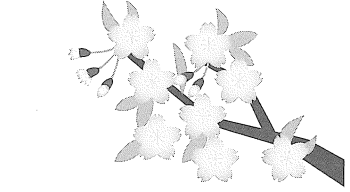
教職員異動 (令和4年3月)

全日制

- ★転出者 (教科・転出先) 工藤 淳義 理科 弘前南高 (全) 秋元 浩子 理科 弘前中央高 (全) 奈良 文葉 外国語 弘前実業高 (全) 大島 貴義 保体 教育庁スポーツ健康課・指導主事 吹越 尚紀 工業 十和田工業高 (全) 後藤 優希 工業 五所川原工業高 (全) 藤森 順和 工業 青森工業高 (全) 秋庭 淳 工業 むつ工高 (全)・教頭 山形 文雄 工業 青森工業高 (全)

定時制

- ★転出者 (教科・転出先) 葛西 克之 外国語 尾上総合高 (定) 成田 綾子 養教 教育庁スポーツ健康課・指導主事



青森県立弘前工業高等学校同窓会株式会社サトウ入名簿製作ならびに調査業務、送達業務を委託しております。その際、お預かりする個人情報保護に関する日本の法令その他の規範を遵守して右記目的の範囲でのみ利用いたします。詳しくはホームページをご覧ください。

卒業された皆さんへ 証明書の発行について 本校を卒業され、社会の一員として又は学生として又は学生として活躍されていることと思います。今後、各種試験の受験、免許・資格の取得の機会があると思っております。その際に必要となる証明書発行の申請は、左記の要領で本校事務室の窓口にお出でになるか、事務室宛に郵送又は電話で申し込んでください。なお、FAX・メール等での申し込みは本人確認ができないため、受け付けておりません。平成17年4月1日の個人情報保護法施行に伴い、手続きが変更されましたのでご注意ください。 II 手続き方法